

吉川市分別収集計画

第八期

平成28年6月
埼玉県吉川市

吉川市分別収集計画 目次

1	計画策定の意義	1
2	基本的方向	1
3	計画期間	1
4	対象品目	1
5	各年度における容器包装廃棄物の排出量の見込み (法第8条第2項第1号)	1
6	容器包装廃棄物の排出の抑制を促進するための方 策に関する事項(法第8条第2項第2号)	2
7	分別収集をするものとした容器包装廃棄物の種類 及び当該容器包装廃棄物の収集に係る分別の区分 (法第8条第2項第3号)	3
8	各年度において得られる分別基準適合物の特定分 別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法 第2条第6項に規定する主務奨励で定める物の量 の見込み(法第8条第2項第4号)	4
9	各年度において得られる分別基準適合物の特定分 別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法 第2条第6項に規定する主務奨励で定める物の量 の見込みの算定方法	5
10	分別収集を実施するものに関する基本的な事項 (法第8条第2項第5号)	6
11	分別収集の用に供する施設の整備に関する事項 (法第8条第2項第1号)	6
12	その他容器包装廃棄物の分別収集の実施に関し重 要な事項	6

1 計画策定の意義

快適でうるおいのある生活環境の創造のためには、大量生産、大量消費、大量廃棄に支えられた社会経済・ライフスタイルを見直し、循環型社会を形成していく必要がある。そのためには、社会を構成する主体がそれぞれの立場でその役割を認識し、履行していくことが重要である。

本計画は、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（以下「法」という）第8条に基づいて一般廃棄物の大宗を占める容器包装廃棄物を分別収集し、及び地域における容器包装廃棄物の3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進し、最終処分量の削減を図る目的で、市民・事業者・行政それぞれの役割や、具体的な推進方策を明らかにし、これを公表することにより、すべての関係者が一体となって取り組むべき方針を示したものである。

本計画の推進により、容器包装廃棄物の3Rを推進することによって、廃棄物の減量や最終処分場の延命化、温室効果ガスの削減、資源の有効利用が図られ、循環型社会の形成が図られるものである。

2 基本的方向

本計画を実施するにあたっての基本的方向を以下に示す。

- ・ 容器包装廃棄物の発生抑制、再使用、リサイクルを基本とした地域社会づくり
- ・ すべての関係者が一体となった取り組みによる環境負荷の低減

3 計画期間

本計画の計画期間は平成29年4月を始期とする5年間とし、平成31年度に見直す。

4 対象品目

本計画は、容器包装廃棄物のうち、スチール製容器、アルミ製容器、ガラス製容器（無色、茶色、その他）、飲料用紙製容器、段ボール、紙製容器包装、ペットボトル、プラスチック製容器包装を対象とする。

5 各年度における容器包装廃棄物の排出量の見込み

(法第8条第2項第1号)

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
容器包装廃棄物	4,686t	4,740t	4,792t	4,838t	4,881t

6 容器包装廃棄物の排出の抑制を促進するための方策に関する事項

(法第8条第2項第2号)

容器包装廃棄物の排出の抑制の促進を図るため、以下の方策を実施する。なお、実施にあたっては、市民、事業者、再生事業者等がそれぞれの立場から役割を分担し、相互に協力・連携を図ることが重要である。

- ・ **ごみ減量への意識啓発**
市の広報誌やホームページ等において情報発信に努めるとともに、吉川市環境教育副読本である「よしの風」において、環境教育を推進する。また、小中学校、自治会等からの要請に応じ職員が出前講座を開催し、ごみの排出量の増大、ごみ処理に要する経費の急増等ごみ処理の状況についての情報を提供し、認識を深めてもらうとともに、さらにごみの排出抑制、分別排出、再生利用の意義及び効果並びに温室効果ガス削減等の環境負荷低減の効果、ごみの適切な出し方等に関する啓発活動を行う。
- ・ **資源ごみの分別促進**
資源ごみの分別排出の徹底やリサイクルの推進等について、市の広報誌やホームページやごみ減量説明会等を通じて啓発する。特に、燃やすごみの中に混入しやすい紙・衣類及びペットボトルの分別啓発に努める。
- ・ **廃棄物減量等推進員との協働**
地域から選出される推進員と市が協働し、各地域が抱えるごみに関する様々な問題に対応するとともに、研修会等を実施し、ごみ減量啓発及び資源ごみの分別排出の促進に努める。
- ・ **エコ・ショップ認定制度の充実**
ごみの減量化、資源化および再生利用に積極的に取り組んでいる市内の小売店舗、又はサービス業を営む事業所を『吉川市エコ・ショップ（環境にやさしい店）』として認定し、広く市民にPRすることにより循環型社会の構築に向け、環境にやさしいライフスタイルを確立する。
- ・ **マイバッグ運動の推進及び環境団体等との連携**
市民環境団体の『マイバッグの会』と連携し、マイバッグの利用実態調査や、市民まつり、環境フェスティバル等での啓発活動を継続して実施する。また、各種環境団体と連携し、市民の環境意識の向上に努める。
- ・ **事業系ごみの排出指導**
事業者向けのリーフレットを作成し配布するなど、事業系ごみの排出者指導を行うことにより、ごみ減量の啓発を行うとともに、分別排出の徹底による資源ごみのリサイクルについて啓発する。

7 分別収集をするものとした容器包装廃棄物の種類及び当該容器包装廃棄物の収集に係る分別の区分（法第8条第2項第3号）

最終処分の残余容量、廃棄物処理施設の整備状況及び再商品化計画等を総合的に勘案し、分別収集をする容器包装廃棄物の種類を下表左欄のように定める。

また、市民の協力度、本市が有する収集機材、選別施設等を勘案し、収集に係る分別の区分は下表右欄のとおりとする。

分別収集をする容器包装廃棄物の種類	収集に係る分別の区分
主としてスチール製の容器 主としてアルミ製の容器	かん
主としてガラス製の容器 無色のガラス製容器 茶色のガラス製容器 その他のガラス製容器	びん
主として紙製の容器包装であって飲料を充てんするためのもの（原材料としてアルミニウムが利用されているものを除く）	紙パック
主として段ボール製の容器	段ボール
主としてポリエチレンテレフタレート（PET）製の容器であって飲料又はしょうゆ等を充てんするためのもの	ペットボトル

8 各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込み

(法第8条第2項第4号)

	29年度		30年度		31年度		32年度		33年度	
主としてスチール製の容器	(合計) 111 t		(合計) 113 t		(合計) 114 t		(合計) 115 t		(合計) 116 t	
主としてアルミ製の容器	(合計) 109 t		(合計) 110 t		(合計) 111 t		(合計) 112 t		(合計) 113 t	
無色のガラス製容器	(合計) 163 t		(合計) 165 t		(合計) 166 t		(合計) 168 t		(合計) 169 t	
	(引渡)量 0 t	(独自処理)量 163 t	(引渡)量 0 t	(独自処理)量 165 t	(引渡)量 0 t	(独自処理)量 166 t	(引渡)量 0 t	(独自処理)量 168 t	(引渡)量 0 t	(独自処理)量 169 t
茶色のガラス製容器	(合計) 126 t		(合計) 128 t		(合計) 129 t		(合計) 130 t		(合計) 132 t	
	(引渡)量 0 t	(独自処理)量 126 t	(引渡)量 0 t	(独自処理)量 128 t	(引渡)量 0 t	(独自処理)量 129 t	(引渡)量 0 t	(独自処理)量 130 t	(引渡)量 0 t	(独自処理)量 132 t
その他のガラス製容器	(合計) 66 t		(合計) 67 t		(合計) 68 t		(合計) 68 t		(合計) 69 t	
	(引渡)量 66 t	(独自処理)量 0 t	(引渡)量 67 t	(独自処理)量 0 t	(引渡)量 68 t	(独自処理)量 0 t	(引渡)量 68 t	(独自処理)量 0 t	(引渡)量 69 t	(独自処理)量 0 t
主として紙製の容器であって飲料を充てんするためのもの(原材料としてアルミニウムが利用されているものを除く)	(合計) 2 t		(合計) 2 t		(合計) 2 t		(合計) 2 t		(合計) 2 t	
主として段ボール製の容器	(合計) 271 t		(合計) 274 t		(合計) 277 t		(合計) 279 t		(合計) 282 t	
主として紙製の容器であって上記以外のもの	(合計) 0 t		(合計) 0 t		(合計) 0 t		(合計) 0 t		(合計) 0 t	
	(引渡)量 0t	(独自処理)量 0t	(引渡)量 0t	(独自処理)量 0t	(引渡)量 0t	(独自処理)量 0t	(引渡)量 0t	(独自処理)量 0t	(引渡)量 0t	(独自処理)量 0t
主としてポリエチレンテレフタレート(PET)製の容器であって飲料又はしょうゆその他主務大臣が定める商品を重点するためのもの	(合計) 242 t		(合計) 245 t		(合計) 248 t		(合計) 250 t		(合計) 252 t	
	(引渡)量 0t	(独自処理)量 242t	(引渡)量 0t	(独自処理)量 245t	(引渡)量 0t	(独自処理)量 248t	(引渡)量 0t	(独自処理)量 250t	(引渡)量 0t	(独自処理)量 252t
主としてプラスチック製の容器包装であって上記以外のもの	(合計) 0t		(合計) 0t		(合計) 0t		(合計) 0t		(合計) 0t	
	(うち白色トレイ) (引渡)量 0t	(独自処理)量 0t	(引渡)量 0t	(独自処理)量 0t	(引渡)量 0t	(独自処理)量 0t	(引渡)量 0t	(独自処理)量 0t	(引渡)量 0t	(独自処理)量 0t

9 各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込みの算定方法

特定分別基準適合物等の量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込みは、次の推計式で算出する。

$$\text{見込み量} = \text{①直近年度の分別基準適合物等の収集実績} \times \text{②人口変動率}$$

① 直近年度の分別基準適合物等の収集実績

項目		平成27年度 収集実績
主としてスチール製の容器	かん	109.37t
主としてアルミ製の容器		107.22t
無色のガラス製容器	びん	160.56t
茶色のガラス製容器		124.66t
その他のガラス製容器		65.33t
主として紙製の容器包装であって飲料を充てんするためのもの(原材料としてアルミニウムが利用されているものを除く)	紙パック	1.71t
主として段ボール製の容器	段ボール	267t
主としてポリエチレンテレフタレート(PET)製の容器であって飲料又はしょうゆ等を充てんするためのもの	ペットボトル	238.86t

② 人口変動率

29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
72,008人 (対前年度比)	72,838人 (対前年度比)	73,628人 (対前年度比)	74,334人 (対前年度比)	75,000人 (対前年度比)
1.22%	1.15%	1.08%	0.95%	0.89%

10 分別収集を実施する者に関する基本的な事項（法第8条第2項第5号）

分別収集は、現行の収集体制を活用して行う。

11 分別収集の用に供する施設の整備に関する事項（法第8条第2項第6号）

収集及び中間処理については、現行の収集体制を活用して行う。

12 その他容器包装廃棄物の分別収集の実施に関し重要な事項

- ・ ごみ減量化及び資源化を図るため、自治会やPTA等が実施する資源回収に対し、回収量に応じた奨励補助金を交付する。
- ・ 市民や事業者の意見、要望を反映させ、容器包装廃棄物の分別収集を円滑かつ効率的に進めていくため、市民や事業者等の委員で構成された吉川市廃棄物減量等推進審議会を必要に応じて設置する。
- ・ 廃棄物減量等推進員と協働し、市民一人ひとりのごみ減量及び分別意識の高揚に関する啓発を行う。

【参考資料 容器包装廃棄物の排出総量の算出根拠】

5 各年度における容器包装廃棄物の排出量の見込み（法第8条第2項第1号）

〔推計式〕手引き P33「表 2-3-1 ごみ排出量に占める容器包装廃棄物比率」表の平均欄の容器包装全体の5か年の平均値（22.36%）を総排出量に乗じて推計した。

	実績値	予測値					
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
容器包装廃棄物	4,624	4,630	4,686	4,740	4,792	4,838	4,881
総排出量	20,678	20,705	20,958	21,199	21,429	21,635	21,829
人口 (基準日:1月1日)	71,048	71,138	72,008	72,838	73,628	74,334	75,000
人口変動率	-	100.1266	101.2229	101.1526	101.0845	100.9588	100.8959
1日1人あたりの排出量	794	795	804	814	823	830	838

H22～H26の平均値 22.36%

8 各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込み（法第8条第2項第4号）

〔推計式〕平成27年度の収集実績に人口変動率を乗じて、予測値を推計した。

項目		実績	予測値					
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
主としてスチール製の容器	かん	110	110	111	113	114	115	116
主としてアルミ製の容器	※1	107	107	109	110	111	112	113
無色のガラス製容器	びん	161	161	163	165	166	168	169
茶色のガラス製容器	※2	125	125	126	128	129	130	132
その他のガラス製容器		65	65	66	67	68	68	69
主として紙製の容器包装であって飲料を充てんするためのもの(原材料としてアルミニウムが利用されているものを除く)	紙パック	2	2	2	2	2	2	2
主として段ボール製の容器	段ボール	267	267	271	274	277	279	282
主としてポリエチレンテレフタレート(PET)製の容器であって飲料またはしょうゆ等を充てんするためのもの	ペットボトル	239	239	242	245	248	250	252

※1 かん 平成27年度実績値…平成27年度の資源化量は、スチール110トン(50.8%)、アルミ107トン(49.4%)。この割合を収集量216.59トンに乗じて算出。

※2 びん 平成27年度実績値…平成27年度の資源化量は、白カレット160.56トン(45.8%)、茶カレット124.66トン(35.6%)、その他カレット65.33トン(18.6%)。この割合を収集量350.55トンに乗じて算出。

【参考資料 人口予測】

9 ②人口予測値

〔推計式〕 今回の第八期分別収集計画は、第5次総合振興計画の各年1月1日現在の人口推計値を用いる。

項目	年度	人口(1月1日現在)	変動率	備考
実績値	H27	71,048	—	平成28年1月1日現在
予測値	H28	71,138	100.1266	吉川市第5次総合振興計画各年1月1日現在の人口を基に算出した値。
	H29	72,008	101.2229	
	H30	72,838	101.1526	
	H31	73,628	101.0845	
	H32	74,334	100.9588	
	H33	75,000	100.8959	